

を決定する重要な因子の1つである。しかしながら縫製についての基礎的な研究は、他の繊維、糸あるいは布等についての研究に比べれば甚だ少なく、新しい素材に対して充分適用されるためには早急に解明されねばならない問題を多く有している。本報では素材が伸縮性を有するものの縫製に関する基礎資料として縫目の伸びについて実験を行ない若干の知見を得たので報告する。

(方 法)

ウーリーナイロン、テトロン、絹、綿等の縫糸を用い、縫製時の縫糸張力、縫目の大きさ、被縫体の厚さおよび剛さ等と縫目の伸度の関係を求めた。

(成 果)

1. 縫製時の縫糸張力と縫目の伸びは逆比例する。
2. 縫目の大きさと縫目の伸びも1と同様に逆比例の関係にある。
3. 被縫体の厚さと縫目の伸びは正比例する。
4. 被縫体の剛さと縫目の伸びは逆比例する。

B-22 縫製に関する研究

第1報 縫目の伸びについて

山梨学園大 志賀厚太郎

(目 的)

繊維製品の構成における縫製は、その布を性格づける繊維あるいは糸の性質、布の形状等とともに製品の品質